



この会報は、共同募金の配分を受けて発行されています。

平成30年12月末日 発行

やまびこ

No.251

発行

公益社団法人
埼玉県手をつなぐ育成会
理事長 村山 勇治

〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂2-15-3 母子福祉会館内
Tel. 048-833-0444 Fax. 048-833-0400
E-mail:saitama@ikuseikai.jp
ホームページ <http://saitama.ikuseikai.jp>

定価50円
(購読料は
会費に含む)

平成という時代、 そして新元号下の 育成会活動を考える



理事長
村山 勇治

あけましておめでとうござい
ます。本年も相変わりにませず育成会
活動にご理解とご支援をお願い申
し上げます。

本年は30年もの間、慣れ親しん
できた「平成」から新しい元号に
変わる節目の年、誰もが長く記憶
に残る特別な1年になることと思
います。

昭和64年松のうちの7日に昭和
天皇が崩御され、翌8日に新元号
がスタートしたあの時、新年にも
かわからず、誰もがどんより沈ん
でいた空気が鮮明に思い出され
ます。

私個人にとりましても、あの頃、
障がいのある長男の体調が悪く、
入退院を繰り返して、私はとい
えば、共同経営していた会社を
退職して無職となり、新たな起業
を模索していました。正月も家か

ら外に出ることさえなく、悶々と
していた状況にありました。

そんな中にあっても、地元秩父
育成会の会長を引き受けて間もな
かったことから、日中活動事業所
の立ち上げ、それに伴う資金繰り
に頭を悩ませておりました。助成
を受けるために埼玉県育成会に加
盟する必要があるかどうかなどな
ど、いくつもの懸案を抱えていま
した。

年齢も40代半ば、忙しかったけ
れど、つらいとは思わなかったの
は障がいのある子どもたちのた
め、ひいては自分の子どものため
と思い、必ず乗り越えられると信
じていたからでした。

起業は、バブル景気が幸いして
順調に推移したものの、三年後の
平成4年1月、長男は肺炎を併発
し、21歳で旅立ってしまいました。

しばらくの間、放心状態にあり
ましたが、3歳下の娘の成育や、
親の会の仲間の皆さんとの交流が
途絶えることなく続き、今日まで
今の立場で育成会活動に関われて
いることに特別な思いがありま
す。

2016年〜2018年までの
2年間、全国手をつなぐ育成会連

合会の副会長を務めさせていただ
きました。育成会の地域での活
動が全国の連合体として、国に対
して如何に大きな発言力を有して
いるかを幾たびも肌で感じる経験
をしました。

当事者団体としての育成会の提
言は、国や関係機関の施策立案に
欠かせないものと確信していま
す。

もちろん、全国都道府県の市町村
育成会の活発な活動が背景になっ
ていることは言うまでもありませ
ん。

埼玉県育成会においても、新元
号のスタートとともに、役員改選
の年、関東甲信越ブロック大会の
開催など、新たなリーダーの下、
育成会活動の未来を切り拓く特別
な1年にしなければならぬと思
っています。

末尾になりましたが、会員の皆
様に尚いっそうのご支援ご協力を
お願い申し上げます。



権利擁護推進事業部主催
**虐待防止法の施行後の
 現場とこれから**
 を聴く

秩父手をつなぐ育成会

理事 長谷部 晃

9月25日に権利擁護事業部主催の研修会で、又村あいさんの講演がありました。

まず、障害者虐待防止法が作られた背景として、障害者権利条約を批准し、障害者の権利を国際基準に近づけるという必要性がありました。

虐待するものとして、養護者(家族)、施設従事者、使用者の三類系があり、ここ5年の統計では、擁護者は減少傾向にあり、施設従事者についてはジワジワと増加傾向にあるとのことでした。

虐待への「感度」が上がり報告が増えるようになったからだと思います。

学校と病院は除外されましたが、各施設の長には「障害者虐待防止等の措置の実施」が求められています。防止措置の文書化と公表を求めていくことが必要です。



障害者虐待防止法を進めてゆく上で大切なことは、施設従事者のスキルをあげていくことが肝要であり、虐待行為が起きてしまった場合は、行政に報告すると共に改善策を示すことが大事です。改善策を協議する中で、職員のスキルアップにつなげていくことにもなります。

虐待の発生要因の一つは「障害者の意思が理解できない」ことがあります。職員は職員同士で共通理解ができるように「チーム」として情報を共有する必要があります。

また養護者についても、家族が息抜きできるような支援が必要です。

又村さんの講演はいつも現場に即したもので聞き応えのあるものでした。ありがとうございました。

関東甲信越大会
川崎大会に参加して

久喜市栗橋手をつなぐ育成会

理事 桜井直美

川崎駅に着くと、人の多さにびっくり。でも、実行委員のオレンジTシャツを見て、ホッと。

初っ端、私が参加した第1分科会のテーマは、「働く」〜新しい働き方の選択肢を探る〜。

近藤武夫氏(東京大学先端科学技術研究センター)の「超短時間雇用」の話が衝撃的でした。従来の日本型の雇用は、「週40時間」「長期間」「何でもできる人」というのが、条件。そこに、「業務内容と時間を選定」「その業務が遂行できる人」という雇用形態をプラス。そこに、障がい者の特性を生かした「超短時間雇用」が生まれるのです。

近藤氏のセンターには、夕方毎日お茶飲みに来るご本人さんがおられたとのこと。それなら「毎日職員のカップを15分洗う」↓「200円×20日=4000円」という雇用を提案。多忙な職員とも「ありがとう」で交流が深まっ



たとのこと。誰もがいつでも個人事業主となって、「今やってほしい業務」と、「その人の得意な事と無理なくできる仕事量・時間」をマッチングしていけば、豊かな雇用を創出できるというのです。そんな活気的な働き方と出合い興奮気味ながら、午後は全体会に参加。久保全育連会長の中央情勢報告、村山理事長の「次期開催地(埼玉県) あいさつ」と続き、益々気持ちが高まりました。最後は、記念コンサート。高橋薫子さんの音域の広い美しい歌声で、癒されました。来年は、埼玉県。オレンジの方々には負けないホットなおもてなしをめざしていきたいです。大会役員、川崎の皆様から感謝申し上げます。



☆masukotto☆
◆ほーぷちゃん◆

花笠ほーぷ隊と一緒に、知的障がいや発達障がいのある人たちの個性的な行動や感覚を、楽しくて、わかりやすい「疑似体験」を通じた講座で、参加者に大盛況でした。障がいの特性を知り、彼らのよきサポーター(理解者)となるきっかけになる研修会でした。

平成30年度
知的障害者相談地区研修会
に参加して

「知ってほしいなわたしたちのこと」



啓発隊
立ち上げへの思い

那須塩原市手をつなぐ育成会

会長 本澤 恵美子

私には、39歳になる知的障がいのある娘がいます。親の会には、娘が2歳の時に入会し、現在は会長として8年が過ぎようとしています。

会長になって間もない頃、会員の息子さんが、障がい特性による行動で地元の高校生とトラブルになり負傷するという事件がありました。警察にも出向き理解を求めましたが、この時に強く感じたことは、障がいの存在や特性が、全くというほど伝わっていないということ。もし、障がい特性を少しでもわかってくれたら、別な対応があったのではないかと思える悲しい出来事でした。

「ぴーす&ピース」の代表をされている矢野さんが、知的障がい啓発隊を立ち上げたのも、地元で知的障がいをもつ女性に対する悲しい事件があり、その一番の原因は、「知的障がい」というものを知らないからだと話されていました。「知的障がい」のことをできるだけ多く

の人に知ってもらい、障がいのある人たちが安心して楽しく暮らせる地域社会のための活動は、私たちの想いと重なります。ぴーす&ピースの凄いと重なります。「知的障がい」を「楽しく!」疑似体験してもらおうという発想。私たちが啓発隊をやりたいと想いは膨らみ、想いを共有する仲間と「カラフルBOX」を立ち上げました。「ぴーす」を父に、「ほーぷ隊」を母に誕生した私たちは、まだ産声を上げたばかりですが、偉大な両親の背中を追いかけ一歩あゆみだそうと思えます。

権利擁護推進事業部主催

研修会に参加して

「親が最後に準備しておくことは」

久喜市栗橋手をつなぐ育成会

小林 芽美

我が子に障害があると告げられた時、これから始まる人生に心細さと不安だけがありました。子どもが社会につながる時が来て、社会の不理解に苦しみながらも人の温かさに触れ、明日を信じて生きてきました。しかし、今回の表題でもある親なき後の彼の人生をどう守ってい

くのだろうと、いつも頭の隅にあり、時折不安となって湧いてきます。

今回の研修会では、その不安を一つ一つ明らかにし、その解決の方策のあることを示してくださいました。成年後見制度、お金の管理、様々な手続き等々。権利を擁護していかなければならない人たちを支援していく制度、地域で支えていく仕組み作りがなされていることを知りました。親の判断能力が失われた時のことを考えての任意後見のことやお金の信託のことも、初めて知ったことでした。

このような制度や仕組みがあっても親である私が知らなければ利用できないし、親が社会とつながり、人とつながっていないなければ我が子を社会につなぐことができないと思えました。子どもたちが生涯幸福に暮らせるよう、社会に求めれば応えてくれる準備があるのだから、社会に委ねられるよう親も準備していく必要があります。また、丸山先生のように、彼らのために尽力してくださる方がいらっしゃることに心が熱くなりました。私は親として不安がるだけでなくもう一度生活を見直し、学び備えていこうと思えます。

二〇一八年十二月末日発行(二五一号)

娘の受給者証に強度行動障がいという文字が最近付け加えられました。拘りや問題行動で振り回されている親として今回の勉強会はとても参考になりました。

身障と違って理解されにくい障がいですが、講師の先生が、障がい者の立場になってみると、こんな状態に置かれているのだと思ってみてください。と何度も例を挙げて説明されていました。パニックや問題行動は本人にとっては困っている状態、不安な状態と受け止めなくてはと思いました。

問題行動がなくなるのに1年か

日時 平成30年12月7日(金)
10時～12時

会場 埼玉県民健康センター
埼玉県 勝部 真一郎氏

講師 (社会福祉法人 北摂杉の子会 萩の杜施設長)

相談事業支援事業部主催研修会
そこが知りたい勉強会
に参加して

自閉症や強度行動障がいのある方への支援のあり方について

上尾市手をつなぐ育成会
石川律子



かった成功例を聞き、きめ細かな観察、そして対策としてさまざまなアイデア、たくさんの方の支援者情報と共有し、何度も検証するなど根強い努力に感心しました。

萩の杜の入所施設の方の平均年齢が43歳と高齢期に向かっており、支援の方針も「穏やかな老後の準備」になりつつあるとのこと、病気や老化のお話は私の周りにも多く切実な問題として伺いました。



【今後の主な行事日程】

1/18(金)	10:00～	権利擁護研修会(講師:又村あおい氏) 埼玉会館7A会議室
1/19(土)	12:00～	新年交流会:埼玉会館ピストロやま
1/20(日)	13:30～	さいたまみんなの会 第一回学習会:重田博氏
1/27(日)	13:30～	さいたまみんなの会 第二回学習会:重田博氏
2/ 5(火)	10:00～	G H推進特別委員会:埼玉会館3B会議室
1/23(土)～24(日)		第五回全国大会:京都府
3/ 3(日)		みんなの会ポージング大会 ウニクス南古谷
1/13(水)		理事会、役員候補選出委員会

あとがき

皆さん、あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

私が、育成会の皆さんにお世話になってから早いもので、もう半年以上が過ぎました。

まだまだ不慣れで、皆さんにご迷惑をお掛けすることが多いかもしれませんが、少しずつでも皆さんのお力になれるよう職員一同頑張っておりますので、これからもご支援よろしくお祈りいたします。

《事務局長 根本》

未来あんしんサポート

未来あんしんサポート

親なきあとのこと... お考えですか?

障がいのあるこの子が お金の管理をできるか心配...

この子が経済的に 困らないようにしてあげたい。

この子への想いを 誰かに引き継ぎたい。

「生命保険」と「信託」が「親御さまの想い」を確実に未来へのこします

障がいのあるお子さまの親御さまは、「親なきあと」の生活がご心配のことかと思えます。「未来あんしんサポート」は、「親あるあいだ」に「親なきあと」をご準備いただくためのご提案です。

「生命保険信託」の仕組みによって、親御さまがお亡くなりになられた場合にFWD富士生命がお支払いする保険金を、みずほ信託銀行がお子さまのための財産として管理しながら、定期的にお子さまにお届けします。

●未来あんしんサポートについて、詳細は「未来あんしんサポートリーフレット」をご覧ください。●株式会社ジェイアイシーは「個人情報の保護に関する基本方針」と題するプライバシーポリシーを策定し、これに基づいて個人情報の取扱いを行っています。その内容は、株式会社ジェイアイシーのホームページにてご確認ください。●当資料は、2018年6月1日現在のお取扱い内容に基づき作成しています。

「未来あんしんサポート」とは、(株)ジェイアイシーがご提案する生命保険と生命保険信託をあわせたサービスの総称です。

お問い合わせはこちらへ

未来あんしんサポートに関するお問い合わせ

ジェイアイシー生命保険信託相談ダイヤル

0120-580-503

通話料 無料 受付時間:月～金(祝日・年末年始を除く)9:00～17:00

【生命保険募集代理店・信託契約代理店】

株式会社ジェイアイシー

本社 〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビル2号館2F
ホームページ www.jicgroup.co.jp

【生命保険引受保険会社】

FWD富士生命保険株式会社

【所属信託会社】

みずほ信託銀行株式会社

登録No.FWD-C1549-1806

公益社団法人 埼玉県手をつなぐ育成会